

# 将来、景観が変わる中の口川

## 天井川でかみそり堤防

信濃川下流工事事務所で、大野大橋から上流の中の口川の改修は新潟県であり、建設省は県と協力して治水事業を進めている、と聞いた。大規模な改修があるとも聞く。巻町にある県の巻土木事務所を訪ねた。同所は中の口川の新飯田橋(白根市)から大野大橋まで二・八キロメートルの改修をしている。

「中の口川は典型的な天井川で、しかもかみそり堤防の所が多い。黒埼町の堤防は味方村や白根市に比べれば頑丈ですけど」と前置きした上で説明を聞いた。巻土木の河川改修の予算は年間五億円ほど。本年度は十二億円もつき現在九カ所の護岸工事を行っている。黒埼町関係では、木場川前の塩俵

## 水防技術講習会



## 金巻の2キロを大改修

塩俵橋から大野大橋まで金巻の約二キロは大規模な改修になるようだ。「川幅を広げたり、河道をまっすぐにしたりする所があるため、堤防の移築をしなければならぬ」と、電鉄の線路も一部移設することになるという。昨年八月には金巻で説明会を開いている。

金巻総代の前田松平さん(六五歳)は「中の口川の景観が変わる大工事のようです。金巻も七十五戸のうち五戸が移転するほか、土地がか

かる人も多い。六十億もかかる、工事はまだまだ先の話と聞きます。我々もずっと改修を要望してきましたから、絶対反対ということはないでしょうが、十分な補償をいただけないかと」と話す。

自宅がかかる予定の金子秀男さん(四二歳)は「いつのことになるかまだ聞いていません」と言う。巻土木では「白根市側は用地買収に六十一年度から入っている。黒埼町の方はまだいつからか未定だ。地元の協力をお願いしたい」と話す。

## 万一の水害に備えて町の対応

毎年、危険か所の調査

堤防を造るには莫大な金がかかる。現在進んでいる善久の築堤護岸工事の場合、樋管など関係工事を除くと、一メートル百二十万円、中の口川の護岸工事は木場で一メートル三十万円という。当然時間もかかる。

町では、河川改修を建設省や県に要望している。白根市など中の口川沿線で構成する中の口川治水事業促進協議会に加わっている。同協議会では治水事業の促進を目的にしている。その一環として、九月七日、十一日に中の口川の視



前田松平さん  
金巻 六五歳

## 巻土木事務所を訪ねる

③

防計画書がある。洪水のときの連絡系統や水防資材の調達、消防団の行動などを決めていくもので、黒埼町水防協議会(会長は町長)が審議しまとめている。

## 薄れていく水害の記憶

町には住民からさまざまな要望が届くが、河川改修に関係するものは少ない。町民世論調査では防災に力を入れてほしいと答えた人は二%である。それも「防火の講習会を開いて」とか「消火栓をもっと設置して」など消防関係である。もともと河川改修は国県の事業であり、町への要望にはならないのかもしれない。

町が設置した信濃川河川敷公園では散歩をしたりテニスやゲートボールを楽しむ人が多い。この公園には高い木を植えたり、トイレなど建物は建てられない。河川敷だから、いつ水が公園を浸すかわからないからだ。

黒埼町は何十年大水害に見舞われていない。六・二六水害さえ記憶にとどめている人は少ないようだ。「あのとき、被害があったのか」と聞く人もいる。人々が洪水を口にしなくなつて久しい。それでも、堤防は造られていく。万が一、いや百五十年に一回あるという洪水に備えて。

「川で生まれて育つたんだ。一度はすごい洪水を見て死にたいねえ——大野七区で拾った七十八歳のお年寄りの声。」

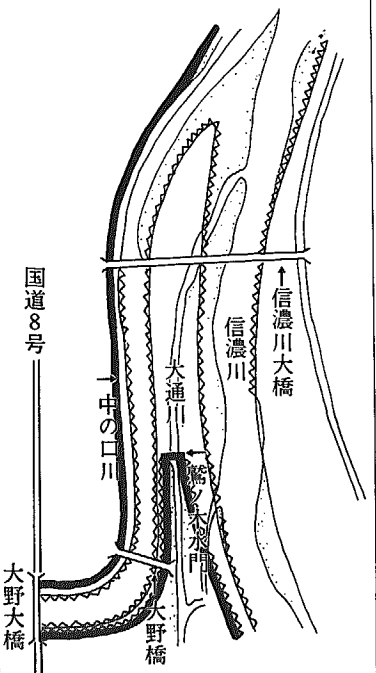
## 河川改修の

①②③④

- ① 信濃川の下流から伸びてきた新しい堤防は善久まで出来ている。さらに本年度大野の方へ200メートルほど伸びる。
- ② 中の口川の川幅を広げるため中州の黒埼側を掘削する。
- ③ 鷺の木水門の改築工事が61年度から63年度まで行われる。
- ④ 合流点改修のため住宅が移転。早ければこの付近から63年度築堤護岸工事に着工。
- ⑤ ①～④までの大野大橋から上流の改修事業は建設省信濃川下流工事事務所が行う。
- ⑥ 大野大橋から上流の中の口川の改修は新潟県巻土木事務所が行っている。⑤から⑥の塩俵橋までの改修は家屋や電鉄線路がかかる。用地買収、工事着工は未定である。

## 合流点付近改修計画図

—— 築堤  
—— 護岸



中の口川(金巻)

